

2020年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)

 シグマ光機株式会社

2020年7月15日(水曜日)

目次

1. 2020年5月期 決算概要

管理本副本部長 兼 経理部長 石井 康之

2. 2021年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長 菊池 健夫

3. 2021年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

期後半の世界経済の減速等を背景に、産業分野向け装置組込み用途が減少。FPD、半導体業界等の設備投資が減速。防衛、医療業界は弱含みで推移。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期	19/5期	20/5期		構成比	サマリー
	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	修正予算 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)		
売上高	8,956 (+14.1%)	9,047 (+1.0%)	8,640 (▲4.5%)	8,493 (▲6.1%)	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関、公的機関向け研究開発分野は弱含み ・産業分野は設備投資の減速傾向が続き需要は軟調に推移 ・米国・欧州は堅調も、アジアは軟調に推移
営業利益	1,433 (+57.0%)	1,123 (▲21.6%)	715 (▲36.4%)	711 (▲36.6%)	8.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・製品ポートフォリオ変化で粗利率低下 ・高難度案件の取込等で材料費等比率増加 ・新工場棟関連設備等により減価償却費増加
経常利益	1,518 (+46.5%)	1,246 (▲17.9%)	825 (▲33.8%)	840 (▲32.6%)	9.9%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,005 (+34.7%)	828 (▲17.7%)	550 (▲33.6%)	595 (▲28.1%)	7.0%	
1株当たり 当期純利益	138円49銭	116円93銭	77円65銭	84円10銭	—	
平均為替レート						
1USD	110.81円	110.69円	108.00円	109.10円		
1人民元	16.74円	16.53円	15.50円	15.66円	—	
1ユーロ	129.45円	128.43円	120.00円	121.14円		
1SGD	—	82.08円	80.00円	79.47円		

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	18/5期	19/5期	20/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	7,060	7,310	7,213	84.9 %	▲1.3 %
光学基本機器製品	2,533	2,496	2,594	30.5 %	3.9 %
自動応用製品	1,172	1,393	1,363	16.0 %	▲2.2 %
光学素子・薄膜製品	3,355	3,420	3,255	38.3 %	▲4.8 %
システム製品事業	1,949	1,820	1,339	15.8 %	▲26.4 %
光学システム製品	1,949	1,820	1,339	15.8 %	▲26.4 %
消去	▲54	▲83	▲59	▲0.7 %	-
合計	8,956	9,047	8,493	100.0 %	▲6.1 %

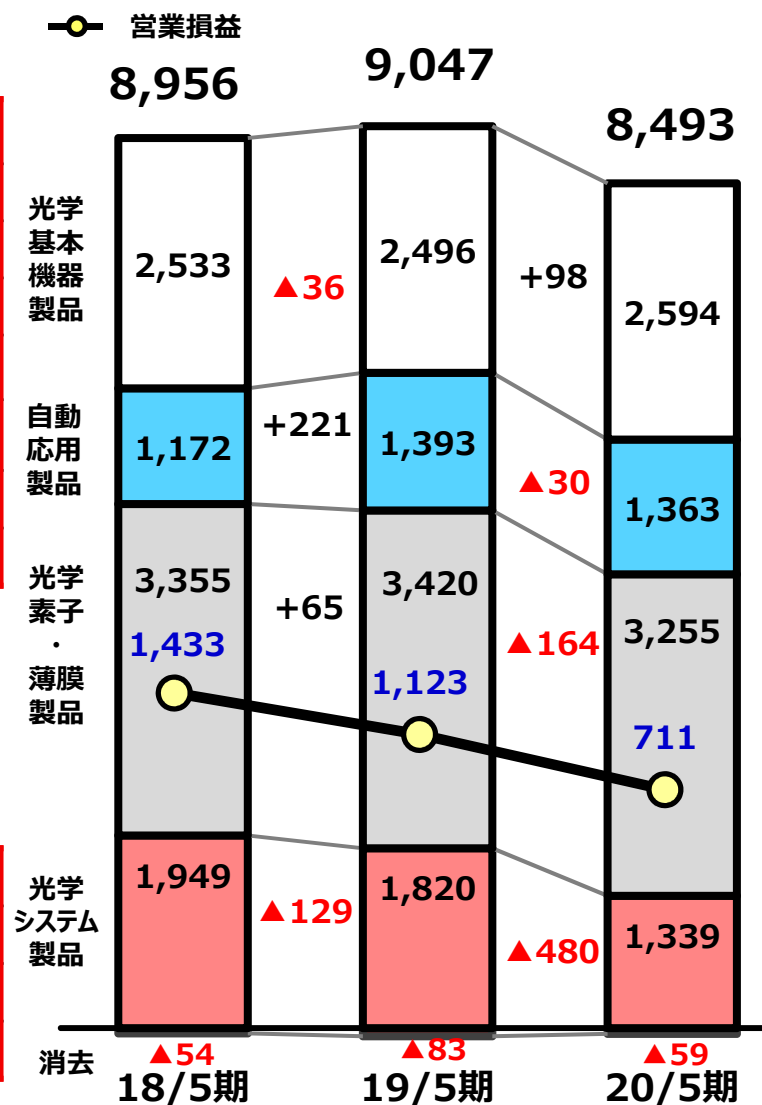
営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	18/5期	19/5期	20/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比
要素部品事業	1,595	1,487	1,184	▲20.3 %
システム製品事業	370	185	28	▲84.5 %
消去	▲532	▲549	▲501	-
合計	1,433	1,123	711	▲36.6 %

売上高

【百万円未満切り捨て】



3

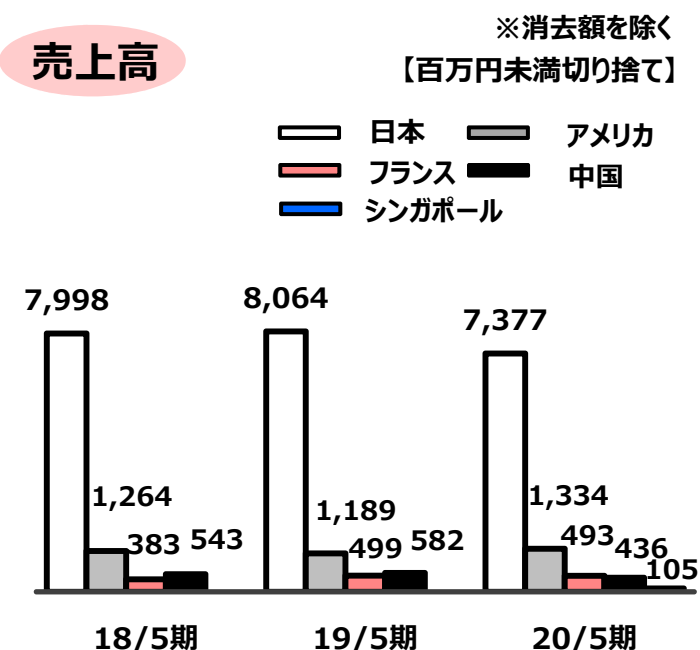
グループ所在地別売上高・営業損益(連結)



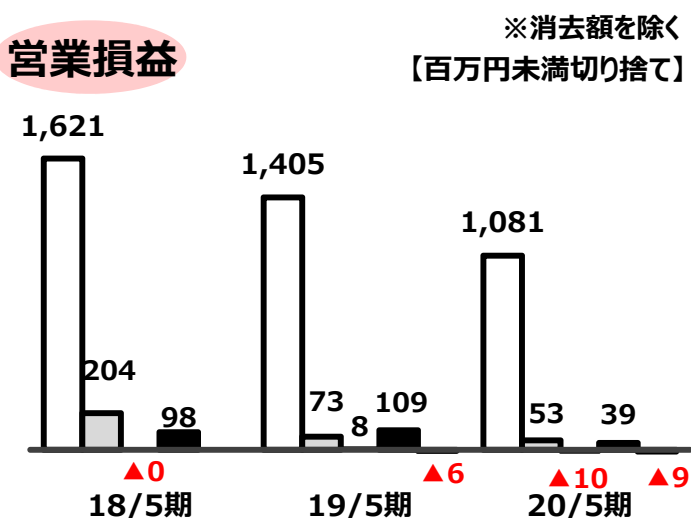
Light Solutions for Life.

【百万円未満 切り捨て】	18/5期		19/5期		20/5期	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	7,998	1,621	8,064	1,405	7,377	1,081
アメリカ	1,264	204	1,189	73	1,334	53
フランス	383	▲0	499	8	493	▲10
中国	543	98	582	109	436	39
シンガポール	-	-	-	▲6	105	▲9
消去 又は全社	▲1,234	▲491	▲1,288	▲466	▲1,253	▲442
合計	8,956	1,433	9,047	1,123	8,493	711
平均為替レート						
1USDドル		110.81円		110.69円		109.10円
1人民元		16.74円		16.53円		15.66円
1ユーロ		129.45円		128.43円		121.14円
1SGD		-		82.08円		79.47円

売上高



営業損益



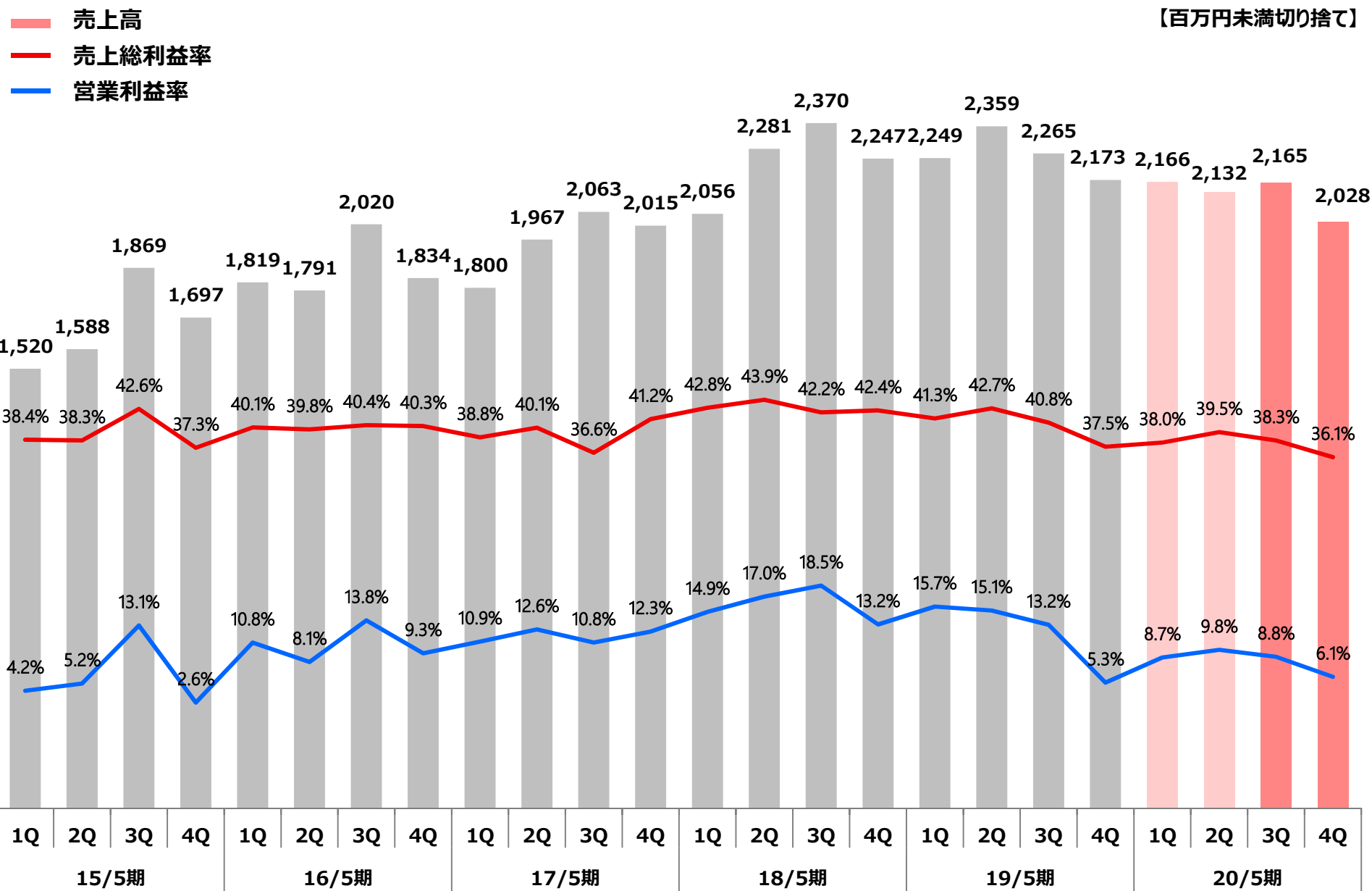
世界経済は、期後半の新型コロナウイルスの影響等で各国とも減速傾向。

北米地域は、バイオ・医療向けリピート案件が寄与し堅調に推移も、足元では減速の懸念。

アジア地域は、昨年からの米中貿易摩擦に加え期後半のパンデミックの影響等により軟調。

欧州地域は、大学・官公庁向けは横ばい。産業分野向けは組込み用途が堅調も減速の懸念。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期	19/5期	20/5期			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	8,956 (100.0%)	9,047 (100.0%)	8,493	100.0%	▲6.1%	
海外売上高	2,573 (28.7%)	2,626 (29.0%)	2,655	31.3%	1.1%	
アメリカ	1,083 (12.1%)	986 (10.9%)	1,167	13.7%	18.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ、医療分野の組込み用の光学基本機器製品が堅調 ・期後半から産業分野の設備投資は鈍化傾向
アジア・ オセアニア	1,077 (12.0%)	1,133 (12.5%)	938	11.0%	▲17.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・FPD・半導体分野向けは需要が軟調に推移 ・足元では半導体分野向けで回復の兆し
ヨーロッパ	362 (4.0%)	468 (5.2%)	502	5.9%	7.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・高難度案件の取り込みを強化し認知度を向上 ・産業分野向けでは光学測定分野や医療分野組込み用の光学素子製品や光学ユニット製品が堅調も先行き不透明
その他	49 (0.6%)	39 (0.4%)	47	0.6%	20.8%	



売上原価率は前年同期比2.6pt悪化。

製品ポートフォリオの変化と高難度特注案件の増加等により材料費等の比率が増加。
新工場棟関連の設備投資により減価償却費が増加。稼働時間減少により労務費は圧縮。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期		19/5期		20/5期			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	8,956	100.0 %	9,047	100.0 %	8,493	100.0 %	▲6.1 %	
材料費等	3,089	34.5 %	3,320	36.7 %	3,242	38.2 %	▲2.3 %	・製品ポートフォリオの変化と高難度案件の取込等により小幅で減少
労務費	1,555	17.4 %	1,572	17.4 %	1,498	17.6 %	▲4.7 %	・稼働時間の減少 ・賞与の減少
減価償却費	240	2.7 %	222	2.5 %	251	3.0 %	13.1 %	・新規設備の稼働開始による増加
その他	237	2.7 %	256	2.8 %	272	3.2 %	6.2 %	・移設に伴う修繕費の増加
売上原価	5,122	57.2 %	5,371	59.4 %	5,265	62.0 %	▲2.0 %	
売上総利益	3,833	42.8 %	3,675	40.6 %	3,227	38.0 %	▲12.2 %	・光学素子製品、光学システム製品などの産業分野向け製品の需要が減少

販管費率は前年同期比で1.4pt悪化。

積極的な学会・展示会出展で広告宣伝費増加も、2月以降は展示会等が中止・延期。
 グループ各社増員による人件費増加。ITシステム資産の供用開始により減価償却費増加。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期		19/5期		20/5期		前年同期比	サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比		
売上高	8,956	100.0 %	9,047	100.0 %	8,493	100.0 %	▲6.1 %	
販売促進費	386	4.3 %	419	4.6 %	394	4.6 %	▲6.2 %	
広告宣伝費	84	0.9 %	86	1.0 %	94	1.1 %	9.3 %	・2月まで海外展示会の出展の増加 ・オンラインビジネスの展開
人件費	996	11.1 %	1,060	11.7 %	1,022	12.0 %	▲3.6 %	・海外グループ各社の増員により増加 ・賞与の減少
減価償却費	46	0.5 %	56	0.6 %	80	0.9 %	42.6 %	・ITシステム資産の供用開始に伴う増加
試験研究費	300	3.4 %	319	3.5 %	307	3.6 %	▲3.8 %	
その他	586	6.5 %	610	6.7 %	617	7.3 %	1.2 %	・支払派遣費の増加 ・オプトシグマヨーロッパ新社屋移転費用による増加
販売管理費	2,400	26.8 %	2,551	28.2 %	2,515	29.6 %	▲1.4 %	
営業利益	1,433	16.0 %	1,123	12.4 %	711	8.4 %	▲36.6 %	

【百万円未満切り捨て】	18/5期	19/5期	20/5期		サマリー
	期末	期末	期末	前期末比	
現金・預金	2,891	2,407	3,350	39.2 %	・棚卸資産の圧縮による増加 ・金銭信託の解約による増加
受取手形・売掛金	1,896	1,854	1,833	▲1.1%	
電子記録債権	808	708	655	▲7.5 %	
棚卸資産	2,254	2,591	2,355	▲9.1 %	
その他流動資産	1,248	1,326	798	▲39.8 %	・有価証券(短期金銭信託)の減少
有形・無形固定資産	2,898	3,591	3,911	8.9 %	・日高新工場棟の竣工による増加
投資等	3,340	3,277	3,247	▲0.9 %	
資産合計	15,339	15,757	16,152	2.5 %	
支払手形・買掛金	1,091	483	474	▲1.9 %	
電子記録債務	-	570	537	▲5.9 %	
短期借入金	199	180	246	36.3 %	
その他流動負債	816	837	597	▲28.7 %	
長期借入金	255	115	478	313.0 %	・新規借入による増加
その他固定負債	749	777	809	4.1 %	
純資産合計	12,228	12,791	13,009	1.7 %	
負債・純資産合計	15,339	15,757	16,152	2.5 %	

【百万円未満切り捨て】	18/5期 通期累計	19/5期 通期累計	20/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	986	869	1,144	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産の減少による増加 ・売上債権の減少による増加
投資活動	63	▲825	▲297	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の解約による増加 ・有形固定資産の取得による減少
フリーキャッシュフロー	1,049	44	846	
財務活動	▲941	▲420	142	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入の実行による増加 ・配当金支払による減少
現金及び 現金同等物の期末残高	2,859	2,516	3,449	

目次

1. 2020年5月期 決算概要

管理本副本部長 兼 経理部長 石井 康之

2. 2021年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長 菊池 健夫

3. 2021年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

◆スローガン

「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

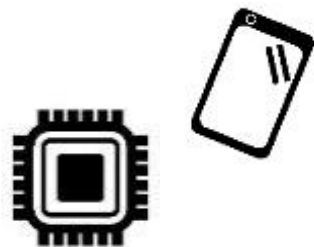
◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

世界経済は依然先行き不透明も、 未来に向けた設備投資に回復の兆し。



基礎研究・学術



エレクトロニクス



ライフサイエンス



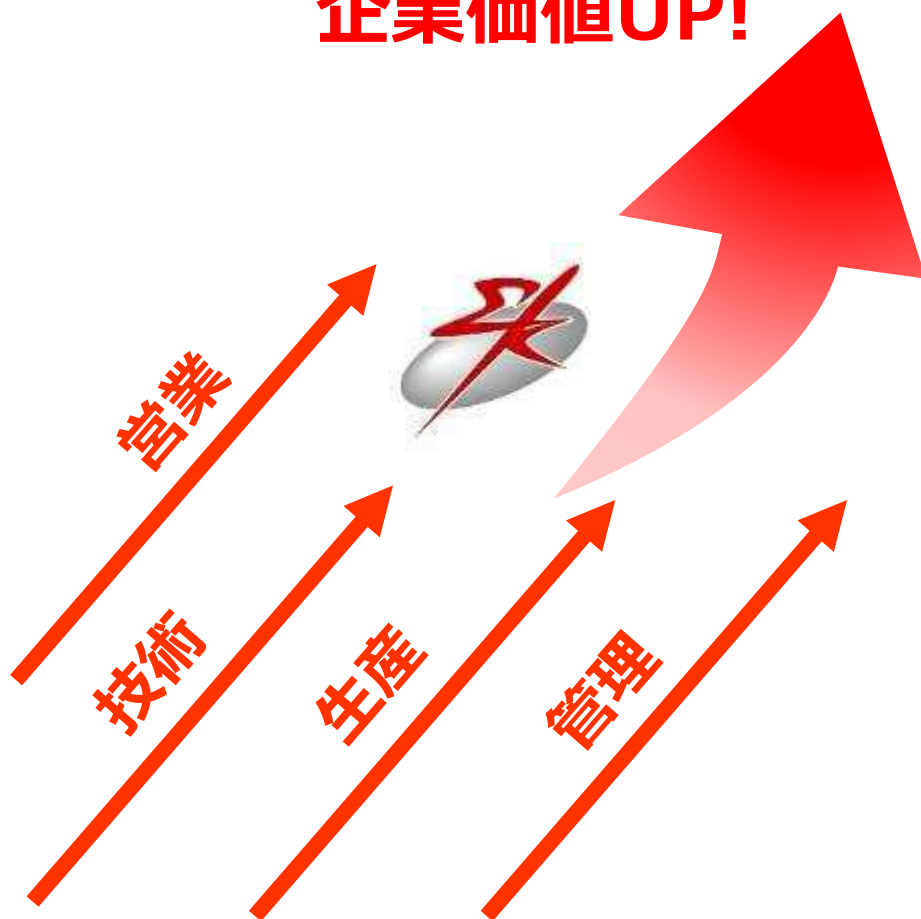
情報通信・宇宙等

シグマ光機の強み

- ✓ 最先端研究分野で培った中核光学技術
- ✓ 開発・製造・営業のソリューション提案力
- ✓ 産学官の各分野と繋がるブランド力

将来を見据えた仕掛けづくり推進

企業価値UP!



営業力UP

- 先端・次世代分野向け取り組み強化
- オンラインビジネス展開・ネットワーキング

技術力UP

- 産学官連携、パートナーとの共創
- 製造・技術・販売の連携体制強化

生産力UP

- 工数低減・生産性向上、在庫管理強化
- 生産技術力向上、内製・外製の最適化

管理力UP

- IT活用&業務効率化&スピードアップ
- 女性・若手・中堅人材の育成強化
- CSR展開&BCP対応強化

足元では経済の減速傾向が続く中、期後半から緩やかな回復の見通し。

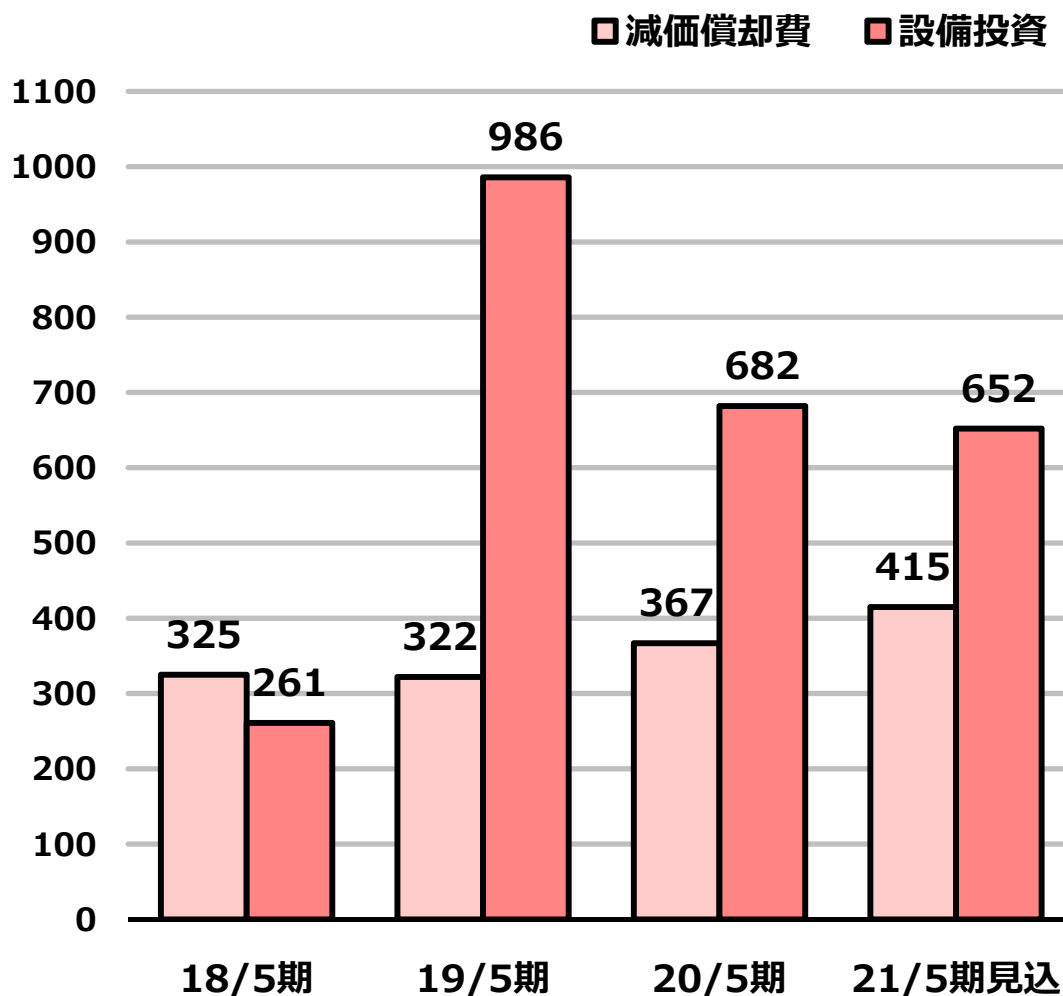
産業分野向けの緩やかな需要回復による増収見込み。海外市場の深耕強化を継続。
新工場棟での減価償却費増加や試験研究費・設備投資の継続等により費用増加見込み。

【百万円未満 切り捨て】	19/5期		20/5期		21/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	9,047	100.0 %	8,493	100.0 %	3,920	4,590	8,510	100.0 %	16	0.2 %
営業利益	1,123	12.4 %	711	8.4 %	195	465	660	7.8 %	▲51	▲7.3 %
経常利益	1,246	13.8 %	840	9.9 %	240	525	765	9.0 %	▲75	▲8.9 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	828	9.2 %	595	7.0 %	150	360	510	6.0 %	▲85	▲14.4 %
1株当り 当期純利益	116円93銭	-	84円10銭	-	21円17銭	-	72円01銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=105.00円、1ユーロ=115.00円、1人民元=15.00円、1SGD=75.00円で計算しております。

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎ 主要設備投資

○ 18/5期

・光学素子設備増強投資	0.8億円
・情報システム投資	0.4億円
・研究開発設備投資	0.3億円
・上海シグマ光機設備投資	0.2億円

○ 19/5期

・日高新規工場棟建設	4.3億円
・光学素子設備増強投資	2.6億円
・オプトシグマヨーロッパ 新社屋購入	1.2億円
・情報システム投資	0.5億円
・オプトシグマ設備投資	0.3億円

○ 20/5期

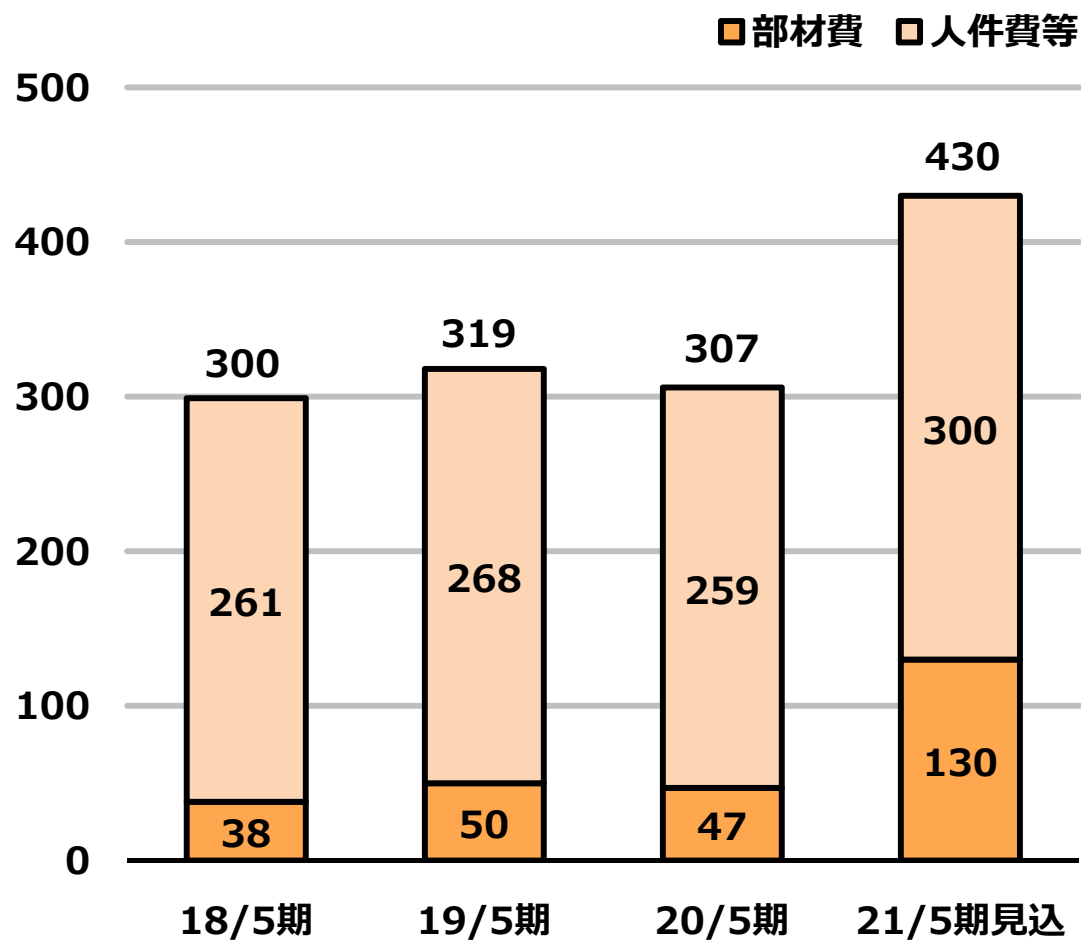
・日高新工場棟建設	5.1億円
・上海シグマ光機設備投資	0.3億円
・オプトシグマ設備投資	0.2億円
・オプトシグマヨーロッパ設備投資	0.2億円

○ 21/5期見込

・光学素子設備増強投資	1.8億円
・能登工場設備増強投資	1.1億円
・上海シグマ光機設備投資	0.9億円
・研究開発設備投資	0.8億円
・オプトシグマ設備投資	0.6億円

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

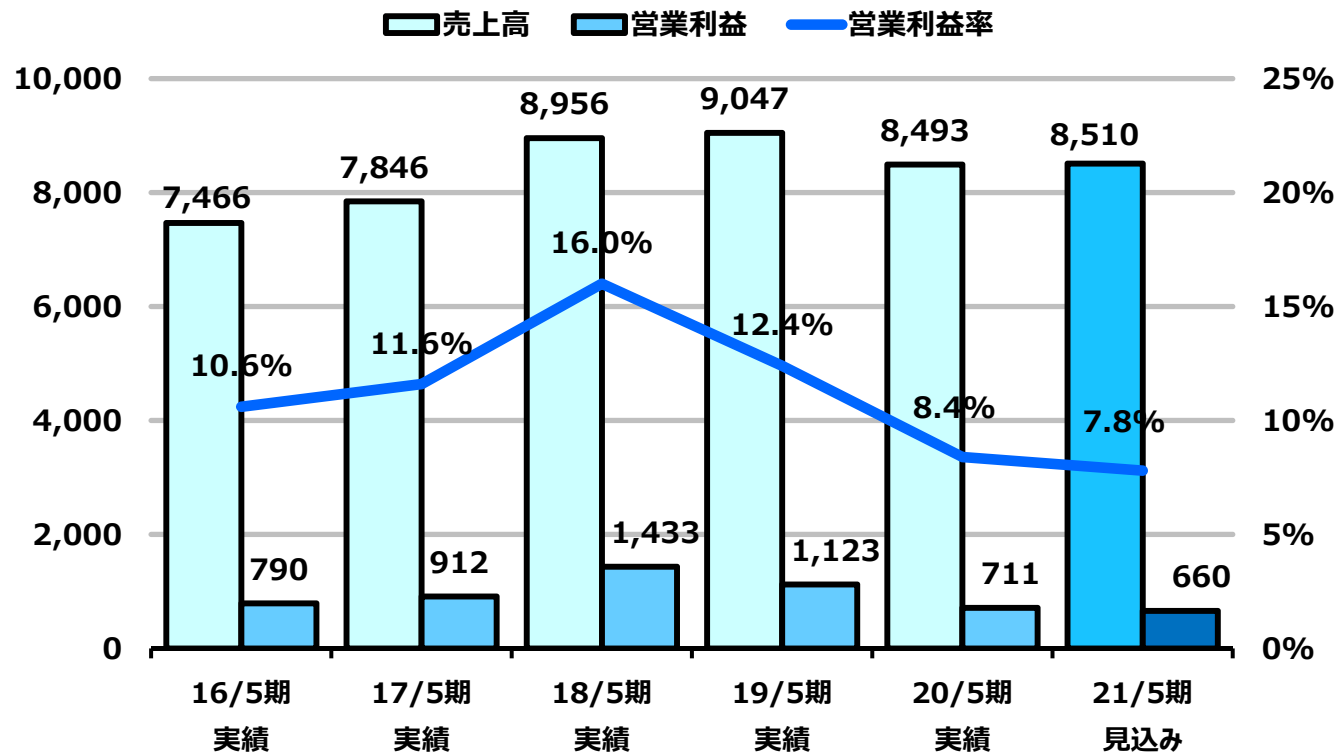
○部材費

	自社	産学官連携
18/5期	38	0
19/5期	50	3
20/5期	47	22
21/5期見込	130	29

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
18/5期	261	3.4%
19/5期	268	3.5%
20/5期	259	3.6%
21/5期見込	300	5.1%

【百万円未満切り捨て】



2021年5月期通期サマリー

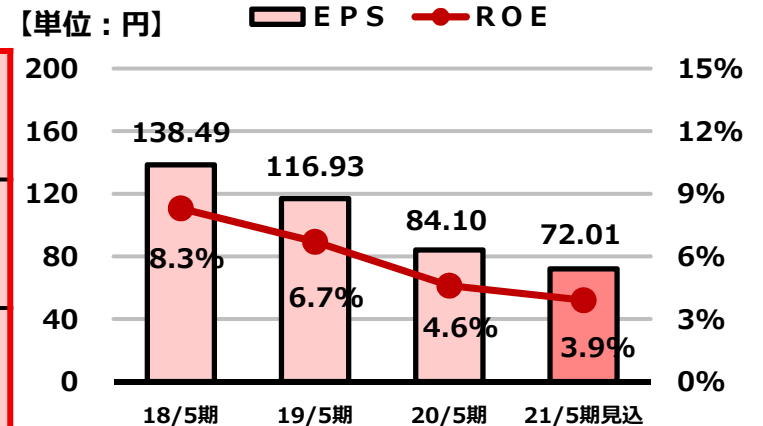
- ① 売上高は微増
 - 需要は下期からは徐々に回復見込み
 - 海外市場はCOVID-19影響継続
 - ② 売上総利益率は横ばい
 - 生産効率化・外部支払費用の圧縮
 - 新工場棟稼働等による償却費増加
 - ③ 販売管理費率の増加
 - 広告宣伝費の増加
 - 試験研究費の増加
- <販売展開の強化>
- 成長分野のリピート・OEMの取込み
 - 高付加価値光学モジュールの提案
 - オンラインビジネスの展開強化

* 強固な財務体質を堅持 (連結)

- ① 自己資本比率 19/5期 : 80.8% → 20/5期 : 80.2%
- ② 利益剰余金 19/5期 : 7,394百万円 → 20/5期 : 7,706百万円
- ③ 純有利子負債 19/5期 : ▲2,110百万円 → 20/5期 : ▲2,625百万円

連結EPS・ROE

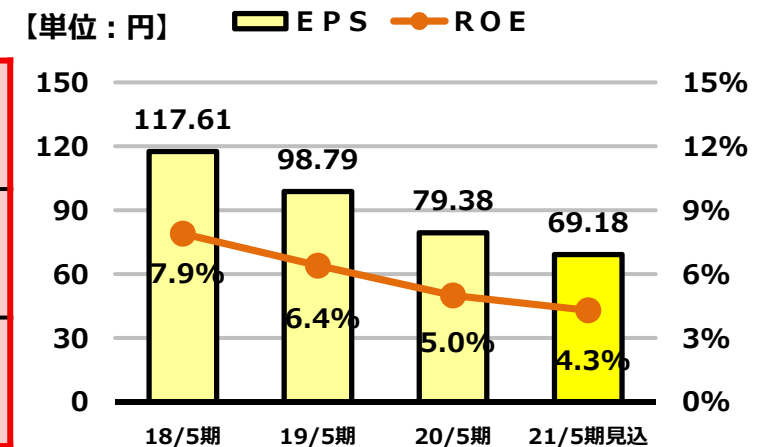
	18/5期 通期	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	1,005	828	595	510
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	138.49	116.93	84.10	72.01
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	8.3	6.7	4.6	3.9(※)



※2020年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

単体EPS・ROE

	18/5期 通期	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	854	699	562	490
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	117.61	98.79	79.38	69.18
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	7.9	6.4	5.0	4.3(※)

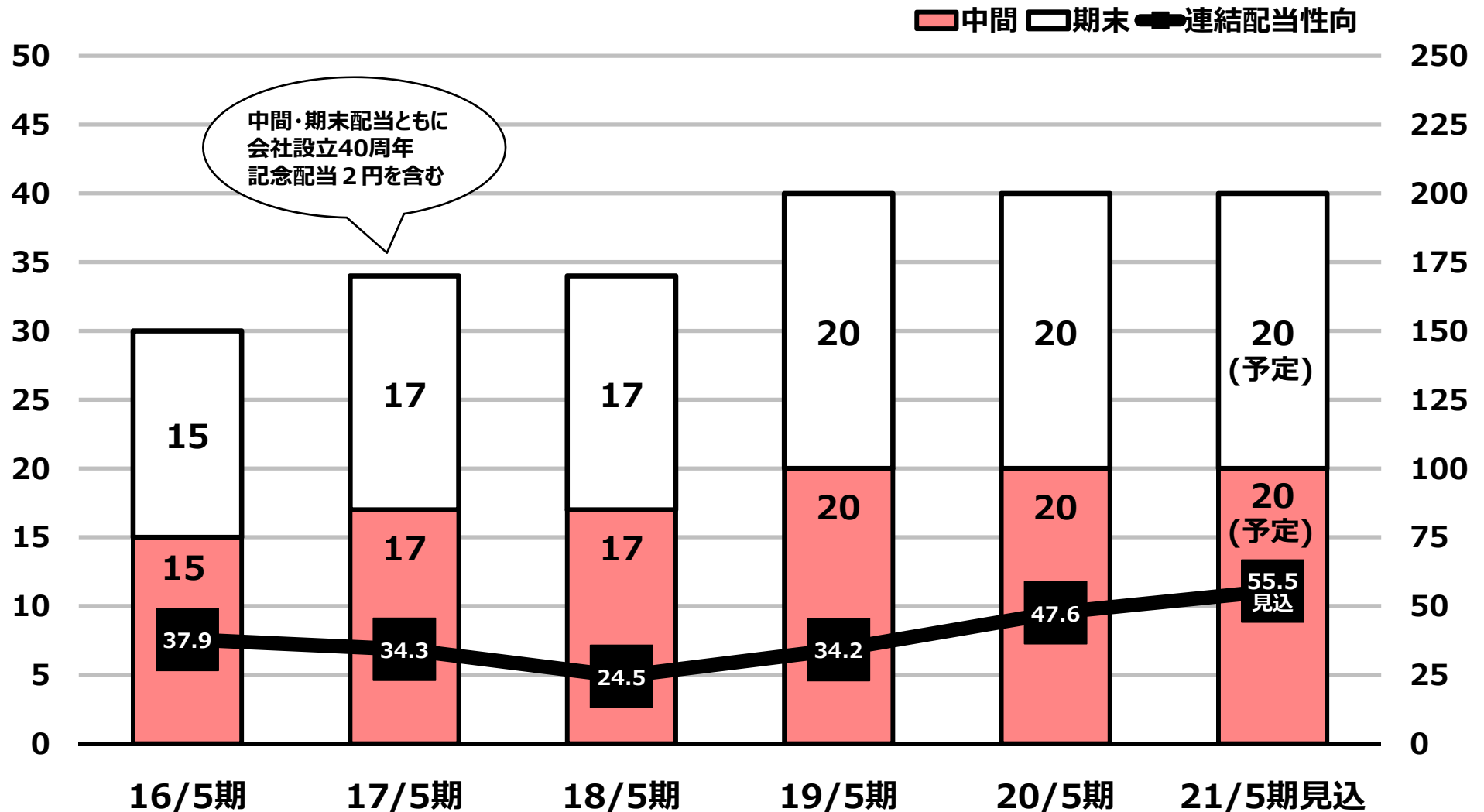


※2020年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

1. 2020年5月期 決算概要

管理本副本部長 兼 経理部長 石井 康之

2. 2021年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長 菊池 健夫

3. 2021年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

1 マーケットと主要製品

- 官公庁・研究機関 : 『お客様の欲しいを形に』製品群・高安定製品・
ナノオーダー自動ステージ・コアユニット顕微鏡等
- 国家PJ関連 : 光学ユニット・スーパーミラー・超高安定ホルダ等
- スマートフォン関連 : レーザ加工機・対物レンズ・加工鏡筒・自動ステージ等
- 半導体関連 : 高精度光学ユニット・自動ステージ等
- 車・センシング関連 : 生産設備用光学ユニット・光学モジュール等
- 防衛・航空宇宙関連 : 光学ユニット・光学素子等
- 医療用フォトリソ関連 : 医療用レーザシステム・医療用光学システム等
- 通信関連 : ファイバー/導波路用自動調芯装置



① OEM・ODM案件創出

② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得

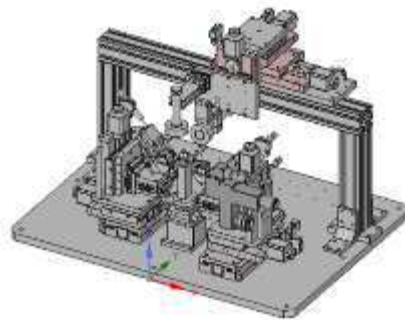
③ 新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

④ お客様満足度向上

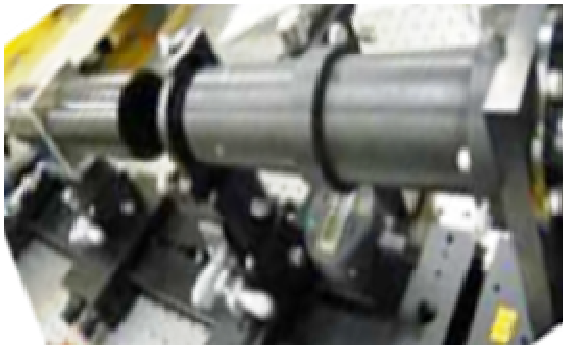
⑤ 魅力的な新製品投入・ラインナップ強化

- 海外のお客様を含む研究者や開発設計部門を中心にオンラインも活用し、積極的に提案実施。

特注対応力・応用例・動画を活用、個別の基礎実験結果等を技術部門同席で説明、OEM・ODM案件を創出



■ 国内・海外から当社技術力へ期待した 国家PJ入札含む高難易度案件を具現化



高精度光学ユニット

設計技術
製造技術
評価技術

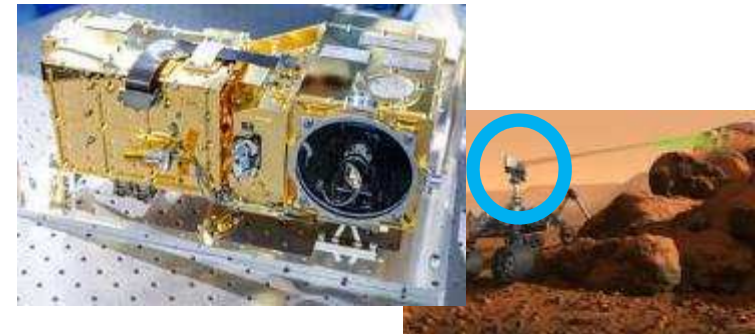
生産設備用OEM製品
として、海外含め出荷
対応中



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー
接合技術

量子関連等、先端研究分野、
海外含め問い合わせ・受注
対応中



©A.Maestas,NANL

NASA/CNES「Mars2020計画」

火星探査機搭載予定の
SuperCam検出器用光学素子

※お客様による評価テストはクリア、
2020/7~8月に打ち上げ予定
※各国から天文・航空宇宙向け
案件の引き合い増加

■ オンラインセミナー開催（2020/7より開始）

- ・レーザ安全講習、バイオ関連等

遠隔地や出張制限があるお客様にも

参加し易い環境を整備

■ オンラインプライベート展示会・

オンライン製品選定サポート等

お客様の困っていることや、製品構成や選定をサポート

■ オンラインフォーラム

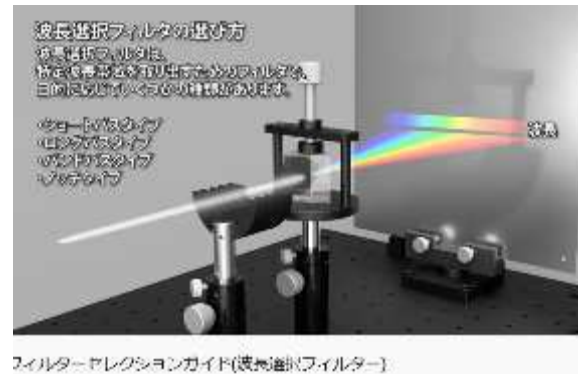
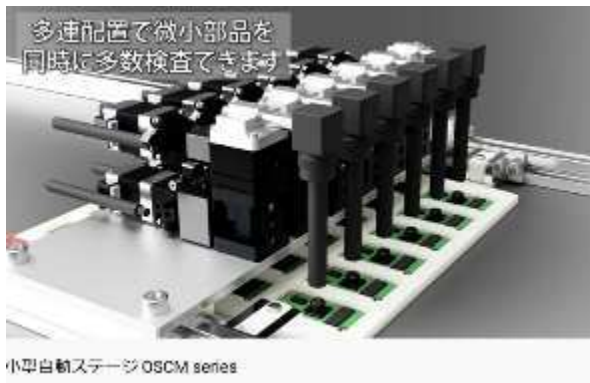
お客様とのコミュニケーションを強化し、

お客様が望む製品の開発や改善を具現化

WEBの最大活用

■ 動画による解り易い製品説明 (YouTubeチャンネル開始)

YouTube
チャンネルバナー



お客様が製品選定がしやすく、製品の特長が解り易い動画を2~4コンテンツ/月を公開中

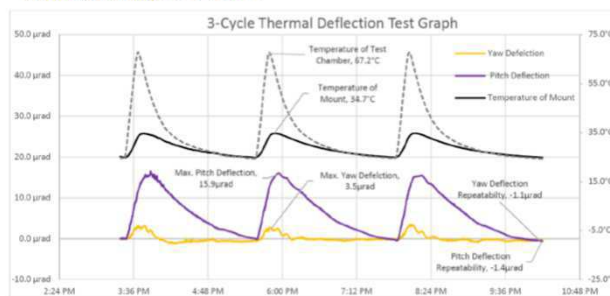
■ 先端研究用途向け製品のラインナップ強化

世界中の**最先端研究に必要な高安定製品**を
新ラインナップ、バリエーションを強化中

バイオ関連向けの新製品と**お客様が望む**
製品と拡張用ユニットのバリエーションを強化中



MHXの熱変位特性(3サイクル)



先端研究に必要な製品をラインナップ強化中

■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・生産設備組込み用製品の需要と受注増加
- ・コラボレーションによる調芯装置・超高分解能観察ユニット等の受注増加
- ・COVID-19の影響による市場の冷え込みから徐々に回復傾向

■ 北米・南米地域

- ・国家PJ、航空宇宙分野等の高難易度チャレンジ案件の新規引き合い増加
- ・バイオメディカル・バイオフォトニクス用光学ユニットの出荷
- ・COVID-19の影響が継続見込み

■ EU圏

- ・国家PJ等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加と引き合い増加
- ・バイオフォトニクス用光学システムの実績増加
- ・COVID-19の影響が継続見込み

① 半導体向け設備組込製品、高精度光学ユニットの需要増

- ・既存の半導体関連OEM案件は46期より徐々に回復基調
- ・高精度光学ユニットの需要は増加傾向
- ・検査装置への組込製品は需要増



② 通信デバイス向けシステム・ユニットの需要増

- ・次世代向け超高精度調芯装置を含む需要が増加



③ 防衛/航空宇宙関連向け光学ユニット・光学素子案件は継続

④ 医療向けレーザーシステム・バイオフォトリクス用ユニットが一部不透明感

⑤ スマートフォン・テレビ向け設備投資が不透明

- ・生産設備用対物レンズはこれまでの減速傾向から46期2Q以降での出荷予定。
一部のお客様は今後の設備投資は終了見込み
- ・新しい生産プロセス用にバリエーション拡大



■ 量子関係等の先端研究分野へ高精度・高分解能・高安定な製品供給

① ナノスケール製品



ナノレベルで安定する
ピエゾアシストステージ



1nmの位置決めが可能なナノステージシステム



お客様が使う環境や必要な要求に合った製品の提案

② 高付加価値製品

**特殊環境用および高付加価値な新製品を市場投入し、
先端研究分野の研究者へ製品の提案**

目次

1. 2020年5月期 決算概要

管理本副本部長 兼 経理部長 石井 康之

2. 2021年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長 菊池 健夫

3. 2021年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。